

平成 24 年度 入学者選抜における選抜・評価方法

学校番号 16

千葉県立柏井高等学校 全日制の課程 普通科・英語科

I 前期選抜の選抜・評価方法

1 期待する生徒像

< 普通科 >

- ア 本校での高校生活を強く希望している。
- イ 調査書中の教科の評定が優れており、入学後も積極的に学習に取り組む意思を持っている。
- ウ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、継続して活動する意思を持っている。

< 英語科 >

- ア 本校での高校生活を強く希望している。
- イ 調査書中の教科の評定が優れており、特に英語に興味・関心を強く持ち、入学後も積極的に学習に取り組む意思を持っている。
- ウ 部活動・特別活動等に優れた実績又は能力・適性を持ち、入学後もそのことを高校生活に生かし、継続して活動する意思を持っている。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして評価または参考にする。
(3) 自己表現	自己表現の各評価基準により評価する。
(4) 志願理由書	記載内容について評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に20日以上、または3ヵ年合計30日以上ある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	生徒会・部活動・学級活動・その他の活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。 (皆勤、生徒会長、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、漢検・英検等)
オ 総合所見	参考資料とする。

(3) 自己表現

自己表現の各評価基準を基に，3名の評価者が150点満点で評価する。

ア 作文による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 内容	題に対応した，一貫性のある内容を書くことができたか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識がはっきりと述べられているか。
(ウ) 明確さ	適切な語句や表現を使い明確に表現しているか。
(エ) 具体性	自らの意志や考えを具体的に表現しているか。

イ 運動系実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現態度	真摯な態度で臨んだか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識を明確に伝えたか。
(ウ) 能力技能	専門的な運動能力を身に付けているか。
(エ) 資質	将来にわたる活躍が期待できるか。

(4) 志願理由書

志願理由書の各評価基準を基に，2名の評価者が合議により30点満点で評価する。

評価項目	評価基準
志願理由	本校入学の意思や目的，継続的な活動の意思について評価する。
自己アピール	特に優れた内容等について評価する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき，「学力検査の成績」，「調査書」，「自己表現の成績」，「志願理由書」，等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。
学力検査の得点，調査書の得点，自己表現検査の得点，志願理由書の得点の総合計により順位をつけ，上位者から入学許可候補者内定者とする。ただし，下記の点に問題がある場合は審議の対象とする。

- ① 学力検査の個々の得点
- ② 調査書の教科の学習の記録
- ③ 出欠の記録
- ④ 自己表現の評価
- ⑤ 志願理由書の評価

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度については，個人面接を行う。

平成 24 年度 入学者選抜における選抜・評価方法

II 海外帰国生徒の特別入学者選抜

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして評価または参考にする。
(3) 自己表現	自己表現の各評価基準により評価する。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に20日以上、または3ヵ年 合計30日以上ある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	生徒会・部活動・学級活動・その他の活動で、特に積極的 に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。 (皆勤、生徒会長、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、 漢検・英検等)
オ 総合所見	参考資料とする。

(3) 自己表現

自己表現の各評価基準を基に、3名の評価者が150点満点で評価する。

ア 作文による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 内容	題に対応した、一貫性のある内容を書くことができたか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識がはっきりと述べられているか。
(ウ) 明確さ	適切な語句や表現を使い明確に表現しているか。
(エ) 具体性	自らの意志や考えを具体的に表現しているか。

イ 運動系実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 表現態度	真摯な態度で臨んだか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識を明確に伝えたか。
(ウ) 能力技能	専門的な運動能力を身に付けているか。
(エ) 資質	将来にわたる活躍が期待できるか。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書」、「自己表現の成績」,等を総合的に 判定して入学者の選抜を行う。学力検査の得点, 調査書の得点, 自己表現検査の得点の総合計により順位をつけ, さらに, 下記の点等をふまえ, 慎重に審議する。

- ① 学力検査の個々の得点
- ② 調査書の教科の学習の記録
- ③ 出欠の記録
- ④ 自己表現の評価

(2) その他

自己申告書が提出された場合には, 選抜のための資料に加え, 提出されたことにより不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

平成 24 年度 入学者選抜における選抜・評価方法

Ⅲ 外国人の特別入学者選抜

1 選抜資料

(1) 調査書	評価項目の各評価を基にして評価または参考にする。
(2) 作文検査	下記の評価基準により評価する。
(3) 面接検査	下記の評価基準により評価する。

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習記録	全教科の評定の合計値を算式 1 により求めた値で評価する。 評定 1 の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に 20 日以上、または 3 ヶ年 合計 30 日以上ある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	生徒会・部活動・学級活動・その他の活動で、特に積極的 に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。 (皆勤、生徒会長、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、 漢検・英検等)
オ 総合所見	参考資料とする。

(2) 作文検査

評価項目	評価基準
(ア) 内容	題に対応した、一貫性のある内容を書くことができたか。
(イ) 目的意識	高校生活への目的意識がはっきりと述べられているか。
(ウ) 明確さ	適切な語句や表現を使い明確に表現しているか。
(エ) 具体性	自らの意志や考えを具体的に表現しているか。

(3) 面接検査

評価項目	評価基準
ア 人物・態度・表現力	身だしなみや、応答の内容・態度など。
イ 意欲・目的意識	本校の教育内容に適合するかどうか。また、入学後の活動 に対する意欲が旺盛かどうか。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書」，「作文検査」，「面接検査」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

平成24年度 入学者選抜における選抜・評価方法

IV 後期選抜

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各評価を基にして評価または参考にする。
(3) 面接検査	面接官2名によるグループ面接(4～5名)を行い、A～Eの5段階で評価する。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	欠席日数が、いずれかの学年に20日以上、または3ヵ年合計30日以上ある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	参考資料とする。
エ 特別活動の記録及び部活動等の記録	生徒会・部活動・学級活動・その他の活動で、特に積極的に取り組んだと認められる記述について参考資料とする。 (皆勤、生徒会長、優秀選手、県大会・関東大会・全国大会、漢検・英検等)
オ 総合所見	参考資料とする。

(3) 面接検査

評価項目	評価基準
ア 人物・態度・表現力	身だしなみや、応答の内容・態度など。
イ 意欲・目的意識	本校の教育内容に適合するかどうか。また、入学後の活動に対する意欲が旺盛かどうか。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組になる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、すべて審議の対象とする。順位付けには算式2を利用し、面接検査の結果を資料として総合的に判断する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

4 その他

過年度については、個人面談を行う。